

日出彦の歳時私記

1. カタクリの里

毎年3月末から4月初めにかけて、大学の近くに「カタクリの里」という幟が立ちます。これは何だろうと思っていましたが、中々近寄る機会が作れませんでした。幟が立つのは高々2週間位なので、いつの間にか時期を逸していました。今回、一念発起して研究室からの日課の散歩の途次に寄ってみることにしました。

小生の大学はミニ因幡山城と思えるような小山の上にあります。そこから見ると次のような光景が見られます。



正面中央に東電の八ツ沢発電所、その先に JR 中央本線が走っています。ここは大月にある葛野川揚水発電所の運転スターターの役もしています。右手の山上に大野調整地があり、上流の発電所で用いた水を溜めて、必要なときに発電しています。中央の桜に囲まれて見えるのが変電所です。

カタクリの里はここから右手にパンした山麓にあります。



キャンパスを背にして、桜並木の坂道を降りていくと、中腹から次のような光景が見られます。何の変哲もない中小企業と思うかもしれませんが、よく見ると庭に紫の幟が数本立っています。センターにブルーのテントも見えます。



平地に出て、近づくカタクリの里という看板が見えました。

カタクリは向かいの黒く見える山腹に群生していました。特別に架設通路が作られていて、ハアハアしながら山を登っていくと、通路の両側にすみれ色の小さな花が群れており、数百はありそうです。



入口には、おじさんたちが屯していました。「八ッ沢カタクリを守る会」のメンバーが交代でこの時期に見学者の案内をしているそうです。といっても、観光地と違い来る人も僅か、前後してやってきたのは小学生でした。



恥ずかしがりだから、というのが案内の方の話で、入り口で手鏡を貸してくれました。みな花びらを地面の方に向けています。花を撮影する場合もデジカメを地面において「勘」で撮らなくてはなりませんでした。

見に行ったのは午後でしたが、花がアップするのは午前 9 時から 10 時頃ということでした。

ご覧のように花弁を U 型に反らせて花冠全体が地面を向いています。

下から見上げると、こんな風に見えます。



しかし、カタクリの花の真髄は花弁に花びら模様が描かれていることにあります。この模様は同じようでもありますが、花ごとに微妙に異なるみたいです。

カタクリはご存知のように片栗粉の原点で、現在は馬鈴薯にとって変わられました。かつては澱粉の素であった・・・ということです。

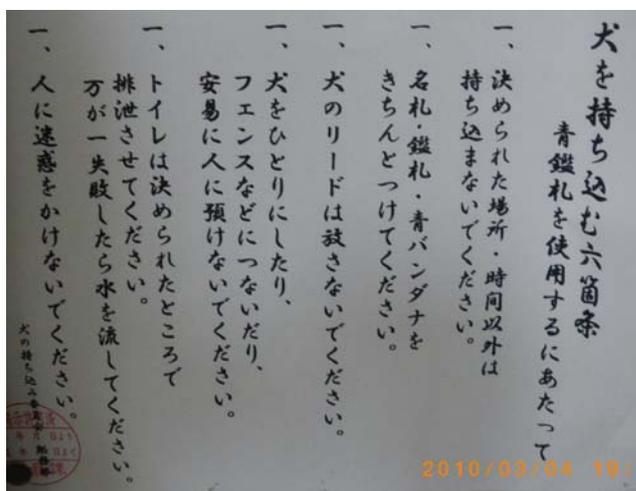


2. 大学案内-ペットの犬の持ち込み

小生のいる大学はアニマルサイエンス学科というのがあり、検定試験に合格した飼い犬は授業を聴講できる仕組みになっています。これは昨年の検定試験結果のピラです。金、銀、赤の三種類のクラスがあって、金、銀は授業に連れて行ってもよいということです。審査は厳しくて、今のところ金は皆無、銀が1年に1匹あるかないかで、ほとんどが赤です。



合格した犬は青いバンダナを首に巻いています。キャンパス内を連れて歩けますが、授業には出られません！



飼い主が守らなければならないルールです。「犬をひとりにしたり…」というところが面白いですね。

3. 研究室のみゆきさん人形

小生は数年前に大学を退任して、いまは非常勤ですが、研究室を貰っています。もともとは大学院の研究センターの会議室だったところへ機材を持ち込んで研究室にしてしまいました。研究室の概要はおいおいご紹介するかも知れませんが、今回はみゆきさん人形の紹介です。



これはみゆきさん人形
といって、去年の夜会に行
ったときに寒い中を行列
して買ったものです。これ
はいま書棚の上に飾って
あります。下の写真のよう
にね。

この人形は見る角度で
表情が違って見えるので
す。



みゆきさんグッズは他
にもありますが、これが一
番気に入っています。



これは後ろからみたところですね。